

コロナ禍における会員とのコミュニケーション方法

新型コロナウイルスにより例会が休会となっているなか、人材育成委員会では「休会中における会員とのコミュニケーション方法」の聞き取り調査を行い、結果をまとめてみました。各クラブで参考にさせていただければと思います。

また、各クラブで「このようなことをやっています！こういう方法はどうでしょうか！」等、アイデア・意見があればS協事務局までお知らせください。

休会中の会員とのコミュニケーションまとめ

人材育成委員会 2021/5

連絡方法	コミュニケーション内容（類似回答あり）	まとめ
1、郵便 はがき	5月より月1回クラブ通信を郵送 S協ニュース5月号より毎月郵便発送 S協ニュース、会報等を欠席者に郵送 S協機関誌、お知らせ、CD等を封筒にて郵送 S協機関誌と近況伺いのコメントを添付にて 数名の連絡先を把握しているのみ 書類の受け渡し等でたまに利用 会報やS協ニュース等の送付	主にクラブ会報、 SD機関誌を送付
2、電話	メール連絡できない会員へは連絡網で電話 クラブの連絡網により伝達 4回実施 必要に応じて 緊急の場合はメーリング+電話で対応 電話する担当者が決まっている メール連絡できない会員へは連絡網で電話 メールが利用出来ない会員へは電話連絡網を使用 奏野のみ電話での対応 連絡網で連絡。退会した方を反映した内容で再作成 会員連絡網にそって、会員の状況の把握	メール等の連絡が 出来ない会員へ 電話連絡している 会員状況の把握に も使用されている
3、メール	約4割がE-mail あり アドレス登録した方のみ、約5割 100%は不可能と思われる 9割の会員がメーリングに登録 担当者が例会案内を毎回送っている 約9割の会員に一斉メール 案内を一斉メールにて連絡 所属している他のクラブのみ役員会で 数名の連絡先を把握しているのみ 役員は全員メールにて連絡	9割の会員がメール 登録されている クラブもある
4、ライン	約6割がLINE可能 ある同期のグループでは、連絡を取り合っている模様 スマホやPCを持っていない高齢者層をどうするか考える必要あり 自身の所属クラブのみ全員 数名の連絡先を把握しているのみ	ラインは高齢者層 を中心に持ってい ない、使用方法 の問題点がある
5、 クラブHP (ブログ)	主に例会スケジュールを公開 例会スケジュール等を公開 開設検討中 例会スケジュール等を掲載 ブログで適時情報を配信、公開 例会スケジュール、トピック等掲載 ブログ内で通知	クラブHPは、 スケジュールを 中心に掲載
6、会報	定期発行の例会案内で案内 毎月、役員会議事録とともに会長から発信 毎月1回発行 例会を行った日に配布	会報は何らかの 方法で配布されて いる（郵送）
7、その他	近場の会員へは直接家に訪問して、会話、資料の手渡し10名位	会話、手渡し等